

まつど SDGs キャラバンメンバーシップ宣言書

2024 年 11 月 22 日

企業・団体名 社会福祉法人松戸市社会福祉協議会

代表者役職・氏名 会長 小川 早苗

SDGs 達成に向けて、以下のとおり取り組むことを宣言します。

1 SDGs 達成に向けて、現在取り組んでいること

社会福祉協議会は「ともに生きる豊かな地域社会」の実現を目指し、住民一人ひとりが協働し、生活上の困難を抱えた場合でも、社会から孤立せず、その人らしい生活を送ることができる社会を目標としています。その目標を達成するために、行政や町会・自治会、民生委員・児童委員、15 地区社会福祉協議会、そして地域のみなさまと協働し地域づくりに取り組んでいます。

SDGs の理念である誰ひとり取り残さない社会を実現するため、それぞれが役割と出番を持ち、支えられる側でありながら支える側にもなれるような社会を目指しています。

2 今後の SDGs 達成に向けて、(1)目指す方向(方針)(2)具体的に取り組みたいこと

(1) 目指す方向 (方針)

- ・地域共生社会の推進にともない、年々複雑化・多様化している地域生活課題に対し、行政だけに頼るのではなく、住民一人ひとりが役割を持ち、年齢や性別、特性に関わらず誰もが地域の問題に取り組んでいける土壌づくりに努めます。
- ・ファンドレイジングにより広く市民に共感および支援を呼び掛けて、貧困状態にある子どもたちに寄り添います。
- ・職員一人ひとりが不安なく健康的に働ける職場環境づくりに努めます。

(2) 具体的に取り組みたいこと

- ・クラウドファンディングにより協力を募り、経済的な理由によりクリスマスやキャンプなど、やりたい体験をあきらめざるを得ない子どもたちに対して、体験の機会を提供していきます。
- ・フードバンクの取り組みについて、地域のみなさまだけでなく、市内企業等にも広く周知を行い、さらなる食品廃棄の削減と困窮世帯への食糧支援を推進します。
- ・不要な本や CD などのモノを募り再利用することで、廃棄を減らすとともに、地域福祉の推進に活用します。
- ・ベビー用品のリサイクルとして、地域のみなさまより使わなくなった（あるいは必要のなくなった）ベビー用品を寄付していただき、必要とする子育て世帯に相談機関を通じてお渡しすることで、子育て時の孤立を防止し、地域で子育て世帯を支える環境を構築します。

3 取組みを通じて目指したい SDGs のゴール(☑を入れてください。複数選択可)

1 貧困をなくそう 	2 飢餓をゼロに 	3 すべての人に健康と福祉を 	4 質の高い教育をみんなに 	5 ジェンダー平等を実現しよう 	6 安全な水とトイレを世界中に
☒	☒	☒	☒	☒	☒
7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに 	8 働きがいも経済成長も 	9 産業と技術革新の基盤をつくろう 	10 人や国の不平等をなくそう 	11 住み続けられるまちづくりを 	12 つくる責任 つかう責任
☐	☒	☐	☒	☒	☒
13 気候変動に具体的な対策を 	14 海の豊かさを守ろう 	15 陸の豊かさも守ろう 	16 平和と公正をすべての人に 	17 パートナリシップで目標を達成しよう 	
☐	☐	☐	☒	☒	